

令和3年度地域訓練協議会(第2回実施分)で出された主な意見

	有識者	産業界(労使)	訓練実施機関	行政機関等
1 制度の周知について		雇用情勢の改善もあるが、実践コースのIT・介護福祉コースの中止率が高く、充足率が比較的低いように思われる。ニーズは高いことから周知等工夫をお願いしたい。 (井出委員)		
6 総論的意見について		求職者が求める「働く環境」と身につけた技能を必要とする業種それが合致せず、結果的に安定した就職に繋がらないことが多くなってきてはいないか。 技能を身につけることと併せて、各業種の職場環境(特に労働時間関係)についても周知することが必要ではないか。職場環境:時間外労働・休日労働・季節による繁閑 等 (小松委員)		
		技能だけでなく、「安全衛生」について確実に教育を実施することを求める。特に民間委託訓練において注意をお願いしたい。職種に関係なく、労働災害の危険は点在している。労災の被災者にならない教育だけでなく、労災の芽を摘み取れるような安全教育の実施を要望する。(小松委員)		
7 その他 (上記1～6以外の意見)			最近の雇用情勢がよくなっているとあるが、介護事業所ではまだに人手不足や介護職員が高齢化になり思うようなサービスを展開できていない。また国では売り上げに応じて処遇改善手当を頂いているが、訪問介護などではガソリンの高騰により手当を頂いても追いつかない。何とかならないのかと思うが、在宅介護を進める上での課題である。(武林委員)	